

## 報道関係者 各位

令和7年12月5日(金)  
(照会先)  
宮城労働局雇用環境・均等室  
雇用環境・均等室長 加藤 明子  
室長補佐 石田 依梨  
(電話) 022-299-8844

### 8社合同のくるみん・えるぼし認定通知書交付式を開催します!

#### ◇認定企業

##### プラチナくるみん認定

○丸か建設株式会社

【令和7年9月22日付認定】(総合建設業・石油類販売)

##### くるみん認定

○株式会社チャレンジジャパン  
○株式会社オンワードマネジメント  
○南光運輸株式会社

【令和7年10月6日付認定】(障害者福祉事業)  
【令和7年10月20日付認定】(金融業・保険業)  
【令和7年11月21日付認定】(貨物輸送取扱業・港湾荷役業等)

##### えるぼし認定(3段階目)

○株式会社建設技術センター

【令和7年9月29日付認定】(学術研究、専門・技術サービス業)

##### えるぼし認定(2段階目)

○医療法人まつざき歯科医院  
○熱海建設株式会社  
○株式会社三協技術

【令和7年9月18日付認定】(歯科医院)  
【令和7年11月11日付認定】(建設業)  
【令和7年11月20日付認定】(学術研究、専門・技術サービス業)

宮城労働局(局長 松瀬 貴裕)は、上記のとおり、次世代育成支援対策推進法に基づく認定及び女性活躍推進法に基づく認定を行い、新たな認定企業に対し下記により認定通知書交付式を開催します。

\* 認定制度については、次頁及び添付書類1・2をご覧ください。

#### 認定通知書交付式

日時: 令和7年12月12日(金) 14:00~ ※写真撮影可

会場: 宮城労働局 共用会議室

(仙台市宮城野区鉄砲町1番地 仙台第4合同庁舎2階)

\* 取材の方は、13:50に2階共用会議室にお集まりください。

なお、事前連絡にご協力ををお願いいたします。

●当日のタイムスケジュール（予定）

14:00～14:10	(10分)	認定通知書交付式
14:10～14:20	(10分)	写真撮影
14:20～14:40	(20分)	懇談（必要に応じて取材対応）
14:40		閉式

「くるみん認定」は、次世代育成支援のための行動計画を達成した企業のうち、一定の要件を満たした場合に、**従業員の子育て支援に積極的に取り組んでいる企業（子育てサポート企業）**として認定する制度です。

「えるぼし認定」は、女性活躍のための行動計画を策定・届出、一定の要件を満たした場合に、**女性の活躍推進に関する取組の実施状況が優良である企業（女性活躍企業）**として認定する制度です。

（添付書類）

資料1 くるみん認定制度の概要（P3）

資料2 えるぼし認定制度の概要（P4）

資料3 各認定企業の取組概要（P5～）

資料4 宮城県内のくるみん認定企業一覧（P13～）

資料5 宮城県内のえるぼし認定企業一覧（P15～）

## くるみん認定について

### ○くるみん認定の主な認定基準（令和7年4月～）

- 1) 適切な行動計画を策定したこと
- 2) 行動計画の計画期間が、2年以上5年以下であること
- 3) 行動計画に定めた目標を達成したこと
- 4) 行動計画について、公表及び従業員への周知を適切に行っていること
- 5) 計画期間に次の①又は②を満たし、厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」でその内容を公表していること
  - ① 男性の育児休業等取得率30%以上
  - ② 男性の育児休業等取得率及び企業独自の育児を目的とした休暇制度の利用率が、合わせて50%以上かつ、育児休業等取得者が1人以上
- 6) 計画期間に、女性労働者及び育児休業の対象となる女性有期雇用労働者の育児休業等取得率が、それぞれ75%以上であり、厚生労働省のウェブサイト「両立支援のひろば」でその内容を公表していること
- 7) 計画期間の終了日の属する事業年度において次の①又は②を満たしていること、かつ③を満たしていること
 

労働時間数について、

  - ① フルタイムの労働者の法定時間外・法定休日労働時間の平均が各月30時間未満であること
  - ② フルタイムの労働者のうち、25～39歳の労働者の法定時間外・法定休日労働時間の平均が各月45時間未満であること
  - ③ 月平均の法定時間外労働が60時間以上の労働者がいないこと
- 8) 次のいずれかについて、成果に関する具体的な目標を定めて実施していること
  - ① 男性の労働者の育児休業等の取得期間の延伸措置
  - ② 年次有給休暇の取得促進
  - ③ 働き方の見直しに資する多様な労働条件の整備
- 9) 法及び法に基づく命令その他関係法令に違反する重大な事実がないこと

上記の認定基準1～9のすべての項目を満たすことで、くるみん認定を受けることができます。

### ○その他の認定制度

#### ・プラチナくるみん認定

プラチナくるみん認定は、くるみん認定・トライくるみん認定を既に受け、相当程度両立支援の制度の導入や利用が進み、より高い水準の取組を行っている企業を評価しつつ、継続的な取組を促進するための認定制度です。

#### ・トライくるみん認定

トライくるみん認定は、令和4年4月1日にくるみん認定・プラチナくるみん認定の認定基準引き上げに伴い創設された制度です。

トライくるみん認定を受けていれば、くるみん認定を受けていなくても直接プラチナくるみん認定を申請できます。

くるみん

プラチナくるみん

トライくるみん



## えるぼし認定について

### ○えるぼし認定の主な認定基準

採用されてから仕事をしていく上で、女性が能力を発揮しやすい職場環境であるかという観点から、以下 5 つの評価項目が定められていて、その実績を厚生労働省のウェブサイト「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表する必要があります。

- 1) 採用
- 2) 繼続就業
- 3) 労働時間等の働き方
- 4) 管理職比率
- 5) 多様なキャリアコース

### えるぼし認定の段階

「えるぼし認定」の段階は 3 段階あり、上記 5 つの評価項目のうち、えるぼしの基準を満たしている項目数に応じて取得できる段階が決まります。

- 5 つ（全て）の基準を満たす： 3 段階目
- 3 ～ 4 つの基準を満たす： 2 段階目
- 1 ～ 2 つの基準を満たす： 1 段階目



### ○プラチナえるぼし認定

「プラチナえるぼし認定」を受けるためには、「えるぼし認定」（3 段階のうちのいずれか）を受けているほかに、下記の要件を満たしている必要があります

- 上記 5 つの評価項目を、**プラチナえるぼしの基準で全て満たし**、その実績を厚生労働省のウェブサイト「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表している
- 策定した一般事業主行動計画に基づく取組を実施し、当該行動計画に定めた目標を達成している
- 男女雇用機会均等推進者、職業家庭両立推進者を選任し、その選任状況を厚生労働省のウェブサイト「女性の活躍推進企業データベース」に毎年公表している。
- 女性活躍推進法に基づく情報公表項目（社内制度の概要を除く）のうち、8 項目以上を厚生労働省のウェブサイト「女性の活躍推進企業データベース」で毎年公表している



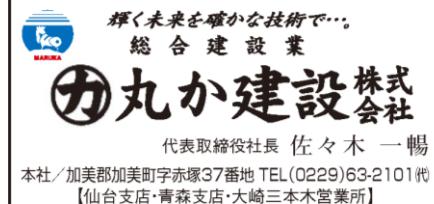


# 丸か建設株式会社

令和7年9月22日付認定

## ■会社概要

代表者： 代表取締役社長 佐々木一暢  
 所在地： 加美郡加美町  
 事業： 総合建設業、石油類販売  
 労働者数： 83人（男性72人、女性11人）



## ■行動計画の目標達成状況

計画期間：2022年6月1日～2025年5月31日

<u>目標1</u>	毎年、自社の両立支援制度の利用状況、両立支援のための取組の成果等を把握し、改善点がないか検討する
<u>達成状況</u>	毎年、「子の学校行事参加休暇」、「看護休暇」（現看護等休暇）の実績を確認し集計した 隨時「育児・介護休業に関する規定」の改訂や、女性マネジメント研修、全職員向けワークライフバランス研修を実施するとともに、インターナシップの積極的な受け入れを行うことにより、目標を達成した

<u>目標2</u>	年次有給休暇の取得日数を1人当たり平均年間10日以上とする
<u>達成状況</u>	年次有給休暇の計画的付与を実施した 年末時点で取得が進んでいない従業員に対し、取得促進を個別に通知し、目標を達成した 令和4年度実績 14.2日 令和5年度実績 14.7日 令和6年度実績 15.4日

<u>目標3</u>	所定外労働を削減するため、ノー残業デーを継続実施する
<u>達成状況</u>	毎月第二水曜日を全社一斉ノー残業デーとし、前日に通知し、責任者からの報告を行わせた 各現場独自のノー残業デーも実施することにより、目標を達成した

## ■育児休業等取得率：【男性】2022年6月1日～2025年5月31日

【女性】2019年6月1日～2025年5月31日

<u>男性労働者</u>	育児休業等取得率：100%
<u>女性労働者</u>	育児休業等取得率：100%

## ■事業主からのコメント

働き方改革が遅れた業界と言われる中で、常に考え、悩みながら子育て支援、労働時間短縮、有給休暇取得促進、女性活躍、次世代育成支援（インターナシップ等）を地道に進めてきたことを評価いただき感謝しております。

今後とも社員を大切にし、選ばれる会社、社員がこの会社でよかったと思える会社を目指してまいります。



# 株式会社チャレンジドジャパン

令和7年10月6日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役社長 白石 圭太郎  
所在地：仙台市宮城野区  
事業：障害者福祉事業  
労働者数：148人（男性40人、女性108人）



CHALLENGED JAPAN

## ■行動計画の目標達成状況

計画期間：2022年1月1日～2025年2月28日

目標	育児をしながらすべての職員がその能力を十分に発揮できる環境を整備し、職員の育児休業取得率を次の水準以上とする 男性職員：育児休業取得率 20% 女性職員：育児休業取得率 90%
達成状況	育児・産後休業取得に関するマニュアルを整備し、全職員に公開と通知を行う 申請から産休、出産してから復職（延長）までの手続きをマニュアルに明記する 段階的に所定労働時間の短縮に取り組み、 令和4年 9:00～18:00 から 9:00～17:30 令和5年 9:00～17:30 から 9:00～17:20 令和6年 9:00～17:20 から 9:00～17:10 を実現し、仕事と育児を両立できる環境を整えた 育児休業取得率については下記のとおり

## ■育児休業等取得率（2022年1月1日～2025年2月28日）

男性労働者	育児休業等取得率：33%
女性労働者	育児休業等取得率：100%

## ■事業主からのコメント

この度は、「くるみん認定」を頂き、誠にありがとうございます。  
当社は2008年に設立以来、障がいのある方への就労支援事業、2024年からは企業向けのコンサルティング事業も行っています。  
企業理念は「すべての人が役割を持ち、認め合える社会へ」。  
この理念を実現するために、まずは社員1人1人が仕事でもライフィベントでもそれぞれの役割を持ち、それらを認め合える社内環境が不可欠であると考えています。  
当社の大きな特徴であり、子育て世代の社員からも高い評価を得ているのが、「残業ゼロ」の会社方針です。また、3年かけて勤務時間の短縮に挑戦し、当初18時であった終業時間が、現在は17時となっています。  
充実したプライベートと両立しながらキャリアを築き、管理職として活躍する女性社員も多くおります。  
これからも、社員が働きやすい環境を整えるとともに、障がいのあるなしに関わらず「すべての人が役割を持ち、認め合える社会」の実現に向け挑戦を続けてまいります。



# 株式会社オンワードマネジメント

令和7年10月20日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役 内田 大介  
所在地：仙台市宮城野区  
事業：金融業、保険業  
労働者数：21人（男性9人、女性12人）



For the next solutions  
オンワード マネジメント

## ■行動計画の目標達成状況

計画期間：2022年6月1日～2025年3月31日

目標1	計画期間内の育児休業制度の利用を促進する (計画期間内の制度利用者1名以上を目標とする)
達成状況	<p>育児介護休業制度の取得奨励、雇用保険法に基づく育児介護休業給付金の説明、両立支援プラン策定に向け、面談を行った</p> <p>また、育児介護休業者へ休業期間中の会社情報や能力開発に関する情報提供を行うことで目標を達成した</p> <p>男性の育児休業取得率 100% (育児休業取得者1人/配偶者が出産した労働者1人×100=100)</p> <p>女性の育児休業取得率 100% (育児休業取得者1人/本人が出産した労働者1人×100=100)</p>

目標2	年次有給休暇取得の促進を図る
達成状況	年次有給休暇取得状況をモニタリングし、消化日数の少ない社員に対し、会社から取得促進を働きかけるほか、社内会議や社内グループウェアを通じ、休暇取得に対する情報提供を行うことで目標を達成した

## ■育児休業等取得率（2022年6月1日～2025年3月31日）

男性労働者	育児休業等取得率：100%
女性労働者	育児休業等取得率：100%

## ■事業主からのコメント

性別を問わず、育児中でも働きやすい職場づくりを進めてきました。  
スタッフ同士の思いやりと理解が、この環境を支えています。  
若い世代が地方でも安心して活躍できるよう、今後も働きやすい環境整備に努めてまいります。



# 南光運輸株式会社

令和7年11月21日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役社長 上野 満男  
 所在地：石巻市  
 事業：貨物運送取扱業・港湾荷役業等  
 労働者数：554人（男性513人、女性41人）



# 南光運輸

## ■行動計画の目標達成状況

計画期間：2023年4月1日～2025年3月31日

目標1	ワークライフバランスの取れた働き方を推進する
達成状況	<p>ノーカー残業デーの推進のため、毎月の時間外労働を職場にフィードバックした</p> <p>また、年次有給休暇取得率80%以上を維持するため、毎年10月を年次有給休暇取得強化月間とし、当該月にチラシを配布することにより、目標を達成した</p> <p>年次有給休暇取得率：2023年度 101%</p> <p>2024年度 95%</p>

目標2	計画期間中の男性の育児休業取得人数を1人以上とする
達成状況	<p>育児休業制度の周知のため、全従業員へチラシを配布し活用を促すなど、取得しやすい職場風土を醸成した</p> <p>また、若年層を対象とした階層別教育プログラムに育児休業に関する内容を組み込むことにより、目標を達成した</p> <p>育児休業取得実績：計7人</p> <p>（育児休業取得者7名/配偶者が出産した労働者16人×100÷43%）</p>

## ■育児休業等取得率（2023年4月1日～2025年3月31日）

男性労働者	育児休業等取得率：43%
女性労働者	育児休業等取得率：100%

## ■事業主からのコメント

この度「くるみん認定」を賜り、大変光栄に存じます。

当社は1950年の創業以来70年以上にわたり、「誠実」「真心」を持ったサービスで地域の皆さんに信頼され、貢献できる企業であり続けたいという思いで歩んでまいりました。

人材不足が課題とされる現在においても、『誰もが快適に働きやすい会社』の実現を目指し、安心・安全な職場環境の整備や、DXによる業務効率化など、さまざまな取り組みを進めてまいりました。

その一環として、従業員が仕事と生活の双方を充実させられる環境づくりを目的に、ノーカー残業デーや有給休暇取得強化月間の導入、育児休業取得の推進などを行ってまいりましたが、これらの取り組みが評価され、このような形で実を結んだことは感慨深いものがあります。

今回の認定を励みに、今後ともより一層気を引き締め、従業員一人ひとりが働きがいを持ち、安心して長く働ける会社を目指して邁進してまいります。



# 株式会社建設技術センター

令和7年9月29日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役社長 鈴木 淳司  
 所在地：仙台市若林区  
 事業：学術研究、専門・技術サービス業  
 労働者数：62人（男性：41人、女性：21人）



株式会社 建設技術センター

## ■認定基準及び達成・改善状況

<u>採用</u>	正社員に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること また、正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること <b>【達成状況】</b> 正社員に占める女性比率 39.1%（産業平均値：25.7%） 正社員の総合職（基幹的な雇用管理区分に）占める女性比率 33.3%（産業平均値：21.2%）
<u>継続就業</u>	女性の平均継続勤務年数が、産業平均値以上であること <b>【達成状況】</b> 女性の平均継続勤務年数 10.9年（産業平均値：9.3年）
<u>労働時間等の働き方</u>	労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること <b>【達成状況】</b> 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計が、全ての雇用管理区分で各月45時間未満である
<u>管理職比率</u>	管理職に占める女性の割合が産業ごとの平均値以上であること <b>【達成状況】</b> 管理職に占める女性の割合 30.0%（産業平均値：10.0%）
<u>多様なキャリアコース</u>	直近の3事業年度のうち、以下について大企業は2項目以上、中小企業は1項目以上の実績を有すること <b>【達成状況】</b> A 女性の非正社員から正社員への転換 1人 B 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分の転換 0人 C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 0人 D おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用 1人

## ■事業主からのコメント

この度は、「えるぼし認定」(3つ星)を賜り誠にありがとうございました。えるぼし取得は、女性の活躍推進を目標に掲げてからの悲願でしたので、感激もひとしおです。

えるぼし認定をいただいたことは、女性従業員が活躍できる職場環境が整備された成果と感じ、会社の成長のみならず従業員一人ひとりの成長も実感しております。

当社は創業40周年を迎えたばかりの成長過程にある会社であり、これまでの経験と信頼を大切にしつつ現在も未来への新たな挑戦を続けております。

「えるぼし認定」という名誉に驕ることなく、今後も女性活躍推進に取組み、男女問わず多様な人材が活躍できる職場づくりを継続していく所存でございます。



# 医療法人まつざき歯科医院

令和7年9月18日付認定

## ■会社概要

代表者：理事長 松崎宏明  
所在地：仙台市泉区  
事業：歯科医院  
労働者数：19人（男性：3人、女性：16人）



まつざき歯科医院  
MATSUZAKI DENTAL CLINIC

## ■認定基準及び達成・改善状況

<u>採用</u>	正社員に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること また、正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること 【達成状況】 正社員に占める女性比率 100%（産業平均値：68.7%） 正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率 100%（産業平均値：60.5%）	
<u>継続就業</u>	正社員の女性労働者の平均継続勤務年数が産業ごとの平均値以上であること 【改善状況】 女性労働者の平均継続勤務年数 2024年度 5.3年（産業平均値：9.2年） 2023年度 4.7年 2022年度 3.7年	
<u>労働時間等の働き方</u>	労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て45時間未満であること 【達成状況】 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計が、全ての雇用管理区分で各月45時間未満である。	
<u>管理職比率</u>	管理職に占める女性の割合が産業ごとの平均値以上であること 【達成状況】 管理職に占める女性の割合 100%（産業平均値：45.5%）	
<u>多様なキャリアコース</u>	直近の3事業年度のうち、以下について大企業は2項目以上、中小企業は1項目以上の実績を有すること 【達成状況】 A 女性の非正社員から正社員への転換 4人 B 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分の転換 0人 C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 0人 D おおむね30歳以上の女性の正社員としての採用 0人	

## ■事業主からのコメント

このたび当院が「えるばし」認定を受けることができましたのは、職員一人ひとりが互いを尊重し、誰もが安心して長く働き続けられる職場環境づくりに取り組んできた成果であると考えております。歯科医院という職場の特性上、歯科衛生士・歯科助手・受付など多くの女性職員が中心となって診療を支えておりますが、近年では性別にとらわれない協働体制を重視しております。

当院では、産前産後休暇や育児休業の取得・復帰支援を積極的に推進しており、女性職員だけでなく男性の先生にも「パパ育休」を取得してもらいました。仕事と家庭の両立を支援し、職員がそれぞれのライフステージに応じて安心してキャリアを築ける環境を整えることが、結果として患者さまへの質の高い医療提供につながると確信しております。

また、当院は2年前に宮城県より「女性のチカラを活かす企業」として認定を受けており、今回の「えるばし」認定は、その取り組みをさらに発展させたものと位置づけております。今後もこの二つの認定を励みとし、すべての職員がやりがいと誇りを持って働く職場づくりを一層推進するとともに、地域の皆さんから信頼され、安心して通っていただける歯科医療機関として貢献してまいります。



# 熱海建設株式会社

令和 7 年 11 月 11 日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役 千葉 嘉春  
所在地：仙台市青葉区  
事業：建設業  
労働者数：32 人（男性：25 人、女性：7 人）



## ■認定基準及び達成・改善状況

<u>採用</u>	正社員に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること また、正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること 【達成状況】 正社員に占める女性比率 25.0%（産業平均値：14.8%） 正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率 11.1%（産業平均値：10.7%）		
<u>継続就業</u>	女性の平均継続勤務年数が男性の平均継続勤務年数の 7 割以上であること。 【改善状況】 女性の平均継続勤務年数 男性の平均継続勤務年数 技術（正社員） 0.8 年 20.7 年 (※) 事務（正社員） 2.9 年 2.9 年 (※) 満たさない項目について、2 年以上連続してその実績が改善している。		
<u>労働時間等の働き方</u>	労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て 45 時間未満であること 【達成状況】 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計が、全ての雇用管理区分で各月 45 時間未満である。		
<u>管理職比率</u>	管理職に占める女性の割合が産業ごとの平均値以上であること 【達成状況】 管理職に占める女性の割合 20.0%（産業平均値：4.1%）		
<u>多様なキャリアコース</u>	直近の 3 事業年度のうち、以下について大企業は 2 項目以上、中小企業は 1 項目以上の実績を有すること 【達成状況】 A 女性の非正社員から正社員への転換 0 人 B 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分の転換 0 人 C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 0 人 D おおむね 30 歳以上の女性の正社員としての採用 1 人		

## ■事業主からのコメント

この度はえるばし認定を頂き誠にありがとうございます。弊社は昭和 18 年に創業して以来、これまで河川、道路、ダム、トンネルといった公共工事を生業として地元の発展に微力ながらも貢献して参りました。これまで建設業は 3 K の仕事と言われ、主に男性の職場というイメージがありました。しかし、最近では I T 技術が普及したことで、女性も活躍出来るようになり積極的に採用しています。女性社員の意見を参考に諸規定を見直し、性別に関わらず全ての社員が育児・介護と仕事を両立し働くことが出来る職場環境を目指しております。仕事に対する女性のやる気や頑張り、意識の高さは目を見張るものがあり、これまでには無かった視点や発想が生まれ、好循環の芽が見え始めています。この度の「えるばし認定」を契機として、今後も女性が活躍出来る職場づくりを推進し地域の発展に寄与して参る所存です。



# 株式会社三協技術

令和 7 年 11 月 20 日付認定

## ■会社概要

代表者：代表取締役 高橋 郁

所在地：仙台市青葉区

事業：建設コンサルタント業

労働者数：169 人（男性：138 人、女性：31 人）



Construction Consultant

株式会社三協技術

## ■認定基準及び達成・改善状況

<u>採用</u>	正社員に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること また、正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率が産業ごとの平均値を上回っていること 【達成状況】 正社員に占める女性比率 29.5%（産業平均値：25.7%） 正社員の基幹的な雇用管理区分に占める女性比率 26.3%（産業平均値：21.2%）		
<u>継続就業</u>	女性の平均継続勤務年数が男性の平均継続勤務年数の 7 割以上であること。 【改善状況】 女性の平均継続勤務年数 男性の平均継続勤務年数 技術（期間の定め無し） 7.18 年 6.70 年 技術（無期転換労働者） 7.40 年 12.74 年 (※) 営業（期間の定め無し） 17.90 年 11.03 年 事務（期間の定め無し） 11.98 年 3.16 年 (※) 満たさない項目について、2 年以上連続してその実績が改善している。		
<u>労働時間等の働き方</u>	労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計時間数の平均が、直近の事業年度の各月ごとに全て 45 時間未満であること 【達成状況】 労働者の法定時間外労働及び法定休日労働時間の合計が、全ての雇用管理区分で各月 45 時間未満である。		
<u>管理職比率</u>	管理職に占める女性の割合が産業ごとの平均値以上であること 【達成状況】 管理職に占める女性の割合 10.4%（産業平均値：10.0%）		
<u>多様なキャリアコース</u>	直近の 3 事業年度のうち、以下について大企業は 2 項目以上、中小企業は 1 項目以上の実績を有すること 【達成状況】 A 女性の非正社員から正社員への転換 2 人 B 女性労働者のキャリアアップに資する雇用管理区分の転換 0 人 C 過去に在籍した女性の正社員としての再雇用 0 人 D おおむね 30 歳以上の女性の正社員としての採用 1 人		

## ■事業主からのコメント

このたびは、えるぼし認定（2つ星）を賜り、誠にありがとうございます。当社は昭和 62 年 2 月に創業し、来年 2 月に 40 周年を迎えます。地域に根差した建設コンサルタントとして、地方経済の発展と向上に貢献することを社会的使命とし、長年にわたり取り組んでまいりました。

女性が安心して働き続けられる職場環境の整備に努め、育児や介護と仕事の両立を支援する制度の充実、柔軟な働き方の推進、有給休暇取得の促進などを実施しています。

今回の認定を励みに、社員一人ひとりが能力を最大限発揮できる環境づくりをさらに進め、地域社会への貢献を続けてまいります。

## 宮城県内のプラチナくるみん認定企業

11社

企業名	所在地	特例認定年	プラス認定年
ホシザキ東北株式会社	仙台市	2015年	
株式会社七十七銀行	仙台市	2017年	
株式会社ユーメディア	仙台市	2017年	
株式会社日立ソリューション東日本	仙台市	2019年	
株式会社仙台銀行	仙台市	2019年	2024年
株式会社ドコモCS東北	仙台市	2021年	
株式会社デンコードー	名取市	2022年	2024年
白石ポリテックス工業株式会社	刈田郡	2025年	2025年
東北電力株式会社	仙台市	2025年	
株式会社TTK	仙台市	2025年	
丸か建設株式会社	加美郡	2025年	

## 宮城県内のくるみん認定企業

68社

企業名	所在地	認定年
東北電力株式会社	仙台市	2008年・2015年・2020年
株式会社河北新報社	仙台市	2008年・2012年
みやぎ生活協同組合	仙台市	2009年・2011年・2015年・2017年
株式会社七十七銀行	仙台市	2010年・2015年
東京エレクトロン宮城株式会社	黒川郡	2010年
株式会社仙台ぱぱど	仙台市	2010年
アイリスオーヤマ株式会社	仙台市	2010年
仙台ターミナルビル株式会社	仙台市	2011年
株式会社清建	登米市	2011年・2013年
ハリウコミュニケーションズ株式会社	仙台市	2012年
ホシザキ東北株式会社	仙台市	2012年
公益財団法人仙台市市民文化事業団	仙台市	2012年
石巻信用金庫	石巻市	2012年
株式会社デンコードー	名取市	2013年
社会福祉法人銀杏の会	仙台市	2013年
株式会社オイルプラントナトリ	名取市	2013年
パイオニアシステムテクノロジー株式会社	仙台市	2013年・2015年
トヨタ自動車東日本株式会社	黒川郡	2013年
株式会社日立ソリューションズ東日本	仙台市	2013年・2016年
株式会社東北システムズ・サポート	仙台市	2013年・2015年
社会福祉法人愛泉会	仙台市	2013年
仙南信用金庫	白石市	2014年
株式会社東建工営	名取市	2014年
株式会社NTT東日本-東北	仙台市	2015年
医療法人社団清山会	仙台市	2015年

株式会社ユーメディア	仙台市	2015 年
医療法人社団スズキ病院	岩沼市	2016 年
通研電気工業株式会社	仙台市	2016 年
株式会社仙台銀行	仙台市	2017 年
株式会社復建技術コンサルタント	仙台市	2019 年・2021 年・2024 年
株式会社エコプラス	名取市	2019 年
公益財団法人宮城県公害衛生検査センタ	仙台市	2019 年
株式会社セントラル伸光	仙台市	2019 年
株式会社たけやま	名取市	2019 年
株式会社一ノ蔵	大崎市	2019 年
株式会社ネクスト	栗原市	2019 年
株式会社ドコモ C S 東北	仙台市	2019 年
株式会社ソノベ	仙台市	2020 年
北日本電線株式会社	仙台市	2020 年・2022 年
東北緑化環境保全株式会社	仙台市	2020 年
コルドンヴェール株式会社	仙台市	2020 年
迫リコー株式会社	登米市	2021 年
株式会社一の坊	仙台市	2022 年
株式会社ウェル	仙台市	2022 年
東日本コンクリート株式会社	仙台市	2022 年
ネットトヨタ仙台株式会社	仙台市	2022 年
株式会社サイコー	仙台市	2022 年
丸か建設株式会社	加美郡	2022 年
株式会社 L a t e r a l K i d s	仙台市	2022 年
株式会社システムネットワーク	仙台市	2023 年
社会福祉法人一視同仁会	石巻市	2023 年
白石ポリテックス工業株式会社	刈田郡	2023 年
カメイ株式会社	仙台市	2023 年
株式会社 T T K	仙台市	2023 年
ヘキサコア株式会社	名取市	2023 年
株式会社トインクス	仙台市	2023 年
社会福祉法人東北福祉会	仙台市	2024 年
テスコ株式会社	仙台市	2024 年
東北特殊鋼株式会社	柴田郡	2024 年
大和電設工業株式会社	仙台市	2024 年
東北電力ネットワーク株式会社	仙台市	2025 年
東邦アセチレン株式会社	多賀城	2025 年
株式会社藤崎	仙台市	2025 年
東杜シーテック株式会社	仙台市	2025 年
株式会社小山商会	仙台市	2025 年
株式会社チャレンジドジャパン	仙台市	2025 年
株式会社オンワードマネジメント	仙台市	2025 年
南光運輸株式会社	石巻市	2025 年

## 宮城県内のトライくるみん認定企業

0 社

2025（令和7）年12月1日 現在

## 宮城県内のプラチナえるぼし認定企業

0社

## 宮城県内のえるぼし認定企業（3段階目）

28社

名 称	所在地	認定年
株式会社七十七銀行	仙台市青葉区	2016年
株式会社日立ソリューションズ東日本	仙台市青葉区	2019年（※）
株式会社みやぎ愛隣会	大崎市	2020年
株式会社ユーメディア	仙台市若林区	2021年
株式会社オオノ	仙台市青葉区	2021年
株式会社シバタインテック	仙台市若林区	2022年
JR 東日本東北総合サービス株式会社	仙台市青葉区	2023年
株式会社仙台にしむら	仙台市泉区	2023年
株式会社北洲	富谷市	2023年
ライブディック株式会社	仙台市太白区	2023年
株式会社鐘崎	仙台市若林区	2023年
株式会社藤崎	仙台市青葉区	2023年
株式会社橋本店	仙台市青葉区	2023年
仙台ターミナルビル株式会社	仙台市青葉区	2023年
株式会社モビーディック	石巻市	2023年
株式会社阿部長商店	気仙沼市	2024年
株式会社西條設計コンサルタント	石巻市	2024年
山信商事株式会社	仙台市青葉区	2024年
株式会社デンコードー	名取市	2024年
ヘキサコア株式会社	名取市	2024年
株式会社 CNS	仙台市宮城野区	2025年
株式会社電通アイ・アンド・シー・パートナーズ	仙台市青葉区	2025年
株式会社間宮商店	塩釜市	2025年
医療法人社団脳健会	仙台市宮城野区	2025年
大和電設工業株式会社	仙台市青葉区	2025年
株式会社深松組	仙台市青葉区	2025年
株式会社新澤醸造店	大崎市	2025年
株式会社建設技術センター	仙台市若林区	2025年

(※)株式会社日立ソリューションズ東日本については、2016年に2段階目の認定も受けています。

## 宮城県内のえるぼし認定企業（2段階目）

15社

名 称	所在地	認定年
ホシザキ東北株式会社	仙台市青葉区	2016年
株式会社 NTT 東日本-東北	仙台市若林区	2016年
株式会社仙台銀行	仙台市青葉区	2020年
東北電力株式会社	仙台市青葉区	2020年
株式会社ドコモ CS 東北	仙台市青葉区	2021年
株式会社秋元技術コンサルタント	仙台市太白区	2021年
株式会社マドック	大崎市	2023年
社会保険労務士法人めぐみ事務所	仙台市宮城野区	2024年
株式会社セント	仙台市青葉区	2024年
コレドンヴェール株式会社	仙台市宮城野区	2024年
株式会社マツモトキヨシ東日本販売	仙台市青葉区	2024年
グローテック株式会社	仙台市青葉区	2024年
医療法人まつざき歯科医院	仙台市泉区	2025年
熱海建設株式会社	仙台市青葉区	2025年
株式会社三協技術	仙台市青葉区	2025年

## 宮城県内のえるぼし認定企業（1段階目）

0社